

戸籍アパルトヘイト国家、中国の未来

東京大学大学院准教授
川島博之

- * 歴史的視点で物事の本質が見える
- * 爆買いを経費で落とす中国人
- * 大躍進政策の失敗が中国の団塊世代を生んだ
- * アジアの発展経路にある共通のパターン
- * 田中角栄政策の効果と限界
- * 土地が持てる日本農民、持てない中国農民
- * 2018年はヒトラーの政権獲得に類似
- * 中国の独裁と北朝鮮の独裁の違い
- * 習近平が権力を掌握した経緯
- * 習近平政権の行く末をどう見るか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）
今日は、中国の実像について、今回3回目だ
と思いますが、川島先生においでいただきまし
た。

ご存じだと思いますが、川島先生は東京水産
大学、それから東京大学を経て、一時農林水産
省におられて、その後東大に戻られております。
中国はいろんな問題が起きているわけですが、
ごく最近のスポットは習近平の独裁政権がどう
やら誕生したらしいということでございます。
中国社会の実態、それから今中国で何が起きて
いるか。それから、この先どうなっていくのか
ということについて、お見立てをお伺いしたい
と思います。

川島 博之
先生の『データで読む中国』という本が東洋

経済から出ておまして、先ほど伺いましたら、
これを講談社がもっと売れる本にするからとい
うことで最近つくられて、すでに5万部を超え
たそうですが、中身は東洋経済の方がずっとい
いとのこと。今日は入口で売っております。
大事なことと、講談社に出ていないことも全部
こちらに載っております。（笑）
そういうことでございますので、じっくりお
話を伺い、それからデータが必要な方は帰りに
お買いただくといいことですのでよろしくお願
いいたします。

では、川島先生、よろしく申し上げます。
（拍手）